鹿児		等専門学	校 開講年度	令和03年度(授業	科目	 国語 I	
科目基	礎情報		•		•		•		
科目番号		0013			科目区分	_	一般 / 必修		
授業形態	ž	講義		単位の種別と単位		修単位:			
開設学科		電気電	 :子工学科	対象学年	1				
開設期		通年		週時間数	2				
教科書/	 					汝研出版)	/新版:	六訂 カラー版 新国語便覧(第一学習	
担当教員	1	松田(i彦						
到達目	 標	•							
国語を的			現する基礎的能力を	身に付けるとともに	、言語文化に対する	る関心を高	高め、言	語感覚を豊かにし、国語を尊重して	
ルーブ	`リック								
			理想的な到達し	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 代表的な文学作品を読み、表現方 法や語句の用いられ方について理 解できる。			現(慣用句、値 見方 を理解し、講義 理 上で、表現にて	現、「関係的ないでは、		ジ即語なと)の働き 養の概要を踏まえた		作品中の語句(漢字、熟語)と表現(慣用句、修飾語など)についての知識が不十分であり、表現について説明することができない。	
会・自然	12 て章をとおし 然などについ ろことができ	て考えを沒	社 れている人間・	作品の読解をとおして、そこに表れている人間・社会・自然などについて深く理解した上で、自己の考えを説明することができる。		¥し、そこ ₹・自然な	に表れ	作品の読解をとおして、その内容についての知識が不十分であり、 そこに表れている人間・社会・自然などについて説明することができない。	
評価項目 様々な文 対する関 かにでき	て章をとおし 関心を高め、	て言語文化 言語感覚を	知識の十分な理 国の言語文化の	国の言語文化の特徴について説明 知識の言語文化の特徴について説明 国 国 国 日 日 日 日 日 日 日		作品に表れている言語についての 知識の十分な理解に基づき、我が 国の言語文化の特徴について理解 することができる。		作品に表れている言語についての 十分な知識がなく、我が国の言語 文化の特徴について説明すること ができない。	
学科の 教育方	到達目標 法等	項目との	関係						
概要		本学国 時に、	語関係科目の基礎的 それに基づく考える	意義を有する。現代 力を身につけ、国語	文を中心に古文、濱 能力の基礎形成を図	漢文の各領 図る。	類域にお	いて、基本的な読解能力を養うと同	
授業の進め方・方法 表現できる 師からの質			きるようにする。 さ	語読をとおして、より深く文章の内容理解に努め、教材の中の様々な問題について自分の意見をもち、的確に 3ようにする。 さらに、常用漢字、重要語句を確実に修得するよう努める。 また、授業に積極的に関わり、教 間にも進んで答えるよう心がける。前後期において中間試験を実施し、学力の確実な定着とその確認を行う 日は中間試験を実施する					
注意点		教科書	の内容とは別に、毎	時間、読書の時間を	作り、読書ノートに トを行う。また、必	こ記録した 必要に応じ	上で、行	毎月ノートのチェックを行う。また 授業の教材や小テストを併用する。	
授業の	属性・履	修上の区	分						
□ アク	ティブラー	ニング	☑ ICT 利用		☑ 遠隔授業対応			□ 実務経験のある教員による授業	
+∞ *** =⊤	. idea								
授業計	<u> </u>	\m			Ţ,	\H =\"		-	
		週	授業内容		週ごとの到達目				
前期		1週	評論:コインは円	論:コインは円形か		文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえることができる。 「レトリック感覚」がどのようなものであるかを理解し、その必要性が理解できる。			
		2週	評論:コインは円	『論:コインは円形か			文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえることができる。 「レトリック感覚」がどのようなものであるかを理解し、その必要性が理解できる。		
		3週	評論:コインは円	『論:コインは円形か		文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえることができる。 「レトリック感覚」がどのようなものであるかを理解し、その必要性が理解できる。			
	1stQ	4週	評論:評論:ネッ	『論:評論:ネットが崩す公私の境			文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価できる。 インターネットにまつわる現況を正しく把握できる。 メディアの変化に伴い何がどのように変化したかを理解できる。		
		5週	評論:評論:ネッ	論:評論:ネットが崩す公私の境		文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価できる。 インターネットにまつわる現況を正しく把握できる。 メディアの変化に伴い何がどのように変化したかを理解できる。			
		6週	評論:評論:ネッ	『論:評論:ネットが崩す公私の境		文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価できる。 インターネットにまつわる現況を正しく把握できる。 メディアの変化に伴い何がどのように変化したかを理解できる。			
		7週	小説:羅生門(文	、説:羅生門(文学史の確認)			作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した 背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを説明する ことができる。		

		8週	小説:羅生門	小説特有の表現を踏まえ、人物・情景・心情などに注意しながら、作者の表現したい意図(主題)を説明することができる。		
	2ndQ	9週	小説:羅生門	語句の意味を理解し、語彙を豊かにできる。 小説特有の表現を踏まえ、人物・情景・心情などに注意しながら、作者の表現したい意図(主題)を説明することができる。 語句の意味を理解し、語彙を豊かにできる。		
		10週	小説:羅生門	小説特有の表現を踏まえ、人物・情景・心情などに注意しながら、作者の表現したい意図(主題)を説明することができる。 語句の意味を理解し、語彙を豊かにできる。		
		11週	小説:羅生門	小説特有の表現を踏まえ、人物・情景・心情などに注意しながら、作者の表現したい意図(主題)を説明することができる。 語句の意味を理解し、語彙を豊かにできる。		
		12週	小説:羅生門	小説特有の表現を踏まえ、人物・情景・心情などに注意しながら、作者の表現したい意図(主題)を説明することができる。 語句の意味を理解し、語彙を豊かにできる。		
		13週	短歌と俳句:俳句	五・七・五の定型・季語・切れ(切れ字)など俳句の 基礎知識、概念を理解できる。 俳人・俳誌・流派などを確認し、俳句への興味を喚起 し、俳句の概要を把握できる。		
		14週	短歌と俳句:俳句	五・七・五の定型・季語・切れ(切れ字)など俳句の 基礎知識、概念を理解できる。 俳人・俳誌・流派などを確認し、俳句への興味を喚起 し、俳句の概要を把握できる。		
		15週	試験答案の返却・解説	授業項目について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解できる。		
		16週	奥の細道:文学史の確認	作品及び作者の文学史上の価値・位置づけが説明でき		
		1週	突の神道・メチ丈の唯能	<u>వ</u> .		
	3rdQ	2週	奥の細道:平泉	同と地の文とが一体になった芭蕉の文章を味わい、俳 諧紀行文の文章として理解できる。 俳諧における季語や切れ字の働きについて理解し、説 明できる。 日本の故事や漢文など、様々な要素を含んだ文章であ ることが理解できる。		
		3週	奥の細道:平泉	句と地の文とが一体になった芭蕉の文章を味わい、俳 諧紀行文の文章として理解できる。 俳諧における季語や切れ字の働きについて理解し、説明できる。 日本の故事や漢文など、様々な要素を含んだ文章であることが理解できる。		
		4週	奥の細道:平泉	句と地の文とが一体になった芭蕉の文章を味わい、俳諧紀行文の文章として理解できる。 俳諧における季語や切れ字の働きについて理解し、説明できる。 日本の故事や漢文など、様々な要素を含んだ文章であることが理解できる。		
		5週	漢文:入門一	漢文訓読のきまりについて理解し、説明できる。 訓点の基本を理解し、説明できる。		
		6週	漢文:矛盾	「矛盾」という故事成語の成り立ちに触れ、原文で正しく読解できる。 漢文を正しく書き下し文に直せる。 「莫~」「無不~」「弗能~」などの否定の句法を理解できる。		
後期		7週	漢文:論語	東アジアの思想に大きな影響を及ぼした『論語』について理解し、説明できる。 『論語』の代表的な章句を読み、内容を理解できる。		
		8週	枕草子:文学史の確認	作者及び作品の文学史上の価値・位置づけを説明でき る。		
	4thQ	9週	枕草子:雪のいと高う降りたるを	動詞の活用の種類及び活用形の意味と、基本的な助動詞の意味が説明できる。 敬語の使い方を理解できる。 文章の内容や形態に応じた表現の特色が理解できる。		
		10週	枕草子:雪のいと高う降りたるを	動詞の活用の種類及び活用形の意味と、基本的な助動詞の意味が説明できる。 敬語の使い方を理解できる。 文章の内容や形態に応じた表現の特色が理解できる。		
		11週	伊勢物語:文学史の確認	作者及び作品の文学史上の価値・位置づけを説明できる。		
		12週	伊勢物語:筒井筒	文法・語法に注意して場面や物語の内容・展開を読み 取ることができる。 文章中の和歌の役割について説明できる。		
		13週	伊勢物語:筒井筒	文法・語法に注意して場面や物語の内容・展開を読み取ることができる。 文章中の和歌の役割について説明できる。		
		14週	伊勢物語:筒井筒	文法・語法に注意して場面や物語の内容・展開を読み 取ることができる。 文章中の和歌の役割について説明できる。		
		15週	試験答案の返却・解説	授業項目について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を理解できる。		

16退	1							
評価割合								
	試験	提出物	小テスト	合計				
総合評価割合	50	15	35	100				
基礎的能力	50	15	35	100				
専門的能力	0	0	0	0				